

第三章 分野別計画編

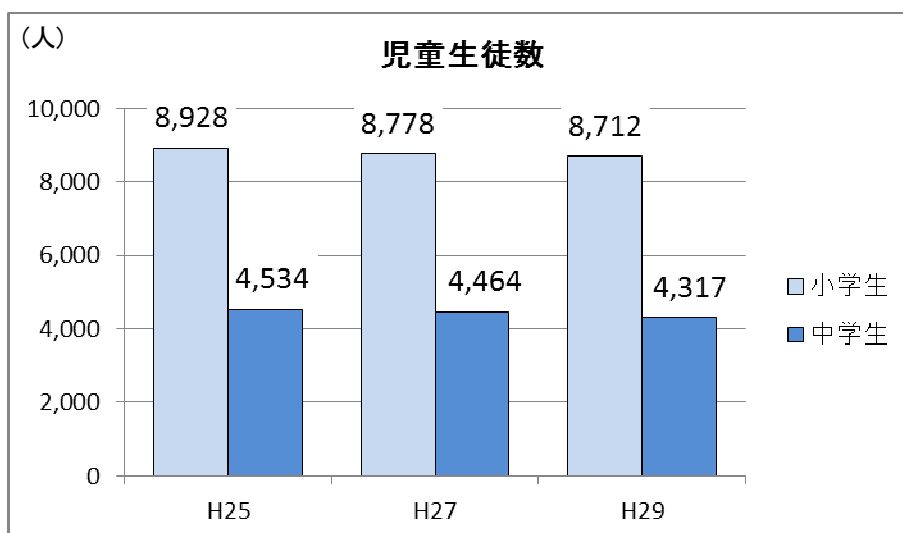
基本施策 13 学校教育



◆現況と課題

- 2020年度から小学校、2021年度から中学校で新しい学習指導要領[※]が完全実施されることになり、道徳の教科化や英語教育、ICT教育の実施など、こどもたちのこれからの時代に必要となる資質・能力を育む教育が求められています。
- 「学校が楽しいと思うこどもの割合」は平成25(2013)年度の92.7%から平成29(2017)年度の91.3%へと減少しています。一方、児童の授業理解度(小学国語)は平成25(2013)年度の76.2%から平成29(2017)年度の79.8%へと上昇し、生徒の授業理解度(中学国語)は平成25(2013)年度の68.6%から平成29(2017)年度の72.4%へと上昇しています。今後も楽しく通い、理解しやすい授業を推進することが重要です。
- 教員が対応を求められる課題は多岐にわたります。児童生徒により良い教育を行うために教員の資質・能力の向上と多忙化解消に向けた取組みが必要です。
- 小牧市の千人あたりのいじめの認知件数は、平成29(2017)年度、小学校34.3件(全国49.1件)、中学校61.4件(全国24.0件)、全体43.3件(全国30.9件、愛知県22.8件)となっています。いじめは軽微な段階から確実に認知し、迅速に適切な対応を講ずることが重要であり、今後も相談体制の強化などを通じていじめの早期発見に繋げる必要があります。
- いじめ、不登校、非行などへの対応、また、特別支援教育やこどもの貧困問題、日本語指導が必要な児童生徒など新たな教育課題への対応が必要です。
- 食物アレルギーを持つこどもが増加傾向にあるため、学校給食では、乳と卵に係るアレルギー対応を確実に実施するとともに、基本的な衛生管理を徹底する必要があります。また、こどもの頃から望ましい食生活を確立する必要があります。

【参考データ】



【関連条例・関連計画】

- ・小牧市教育大綱
- ・小牧市教育振興基本計画
- ・小牧市学校教育 I C T 推進計画

◆基本施策の目的及び状態指標

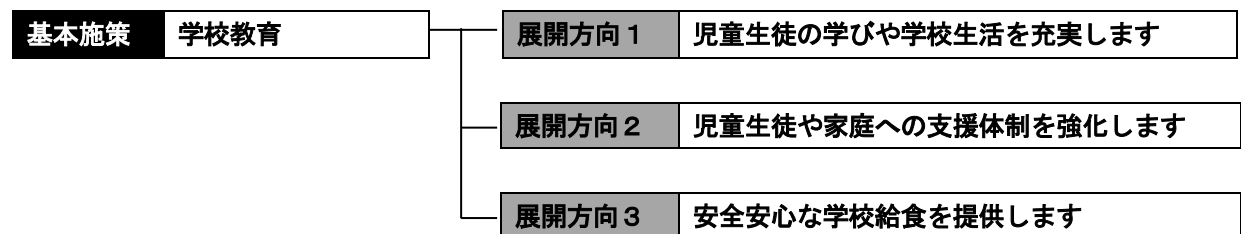
【基本施策の目的：目指すまちの姿】

小牧市の未来を担う子どもたちの温かな心の源となる「愛」と、自らを高める意志の源となる「夢」、社会をたくましく生き抜くことができる「生きる力」を育てるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
子どもが学校に元気に通い、学校で楽しく過ごしていると思う保護者の割合	90.8%	↑
学校が楽しいと思うこどもの割合	91.2%	↑
給食が楽しみと思うこどもの割合	83.7%	↑
不登校児童生徒数	393人	↓
小学校における千人あたりのいじめの認知件数	56.7件	—
中学校における千人あたりのいじめの認知件数	114.1件	—

◆基本施策の体系



◆展開方向 1：児童生徒の学びや学校生活を充実します

【目標】

○すべての児童生徒にこれからの時代に必要となる資質・能力を育む教育を進めます。

【手段】

- 教員の指導力・授業力の向上を支援するため、新学習指導要領などにに基づき効果的な教職員研修を実施します。
- これまでの教育内容を維持するとともに、英語教育の充実、ICT教育の取組みを進めます。
- 学校と地域が協働して児童生徒の豊かな学びと成長を支援します。
- 心身ともに健康な状態で、誇りや情熱を失うことなく、児童生徒と向き合えるよう、教員の多忙化解消の取組みを進めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
教職員研修への参加者数	—	↑
児童の授業理解度（県平均との差）	+1.4%	↑
生徒の授業理解度（県平均との差）	±0.0%	↑
ICTを効果的に活用して授業をしている教員の割合	82.5% (平成29年度)	↑
ゲストティーチャー*による活動回数	100回	↑
勤務時間外の在校時間が月80時間を超過している教職員の割合	12.7%	↓

◆展開方向 2：児童生徒や家庭への支援体制を強化します

【目標】

○支援が必要な児童生徒や家庭への支援を行います。

【手段】

- スクールソーシャルワーカー*や学校生活サポーター*などによる支援を強化します。
- 日本語指導が必要な児童生徒を支援するため、語学相談員*などによる支援を強化します。
- さまざまな困難を抱える児童生徒やその保護者を支援します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
スクールソーシャルワーカーの支援により、状況が改善した件数	15件	↑
語学相談員ひとりあたりの児童生徒数	50.7人	↓
不登校児童生徒のうち、登校できるようになった者及び良い変化があった者の割合	46.6%	↑
いじめの解消率（小学校）	78.0%	↑
いじめの解消率（中学校）	79.0%	↑

◆展開方向 3：安全安心な学校給食を提供します

【目標】

○すべての児童生徒に安全な学校給食を提供するとともに食育を推進します。

【手段】

- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけさせます。
- 安全でおいしい学校給食を提供します。
- 衛生管理を徹底するとともに食物アレルギーへの対応に取り組みます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
朝食を食べている児童生徒の割合	92.2%	↑
残食率	6.9%	↓
食物アレルギーによる事故件数	1件	↓



◆現況と課題

- 学校施設は、昭和40～50年代に建設されたものが多く、全体的に老朽化が進んでおり、改修が必要な箇所が増加しているため、計画的な建替え・改修が必要です。
- 老朽化している学校施設の中で、特にトイレの改修、エアコンの設置を要望する意見が、児童生徒・保護者から多くあります。生活様式の変化の中で家庭、民間施設、公共施設などでの洋式トイレの設置率が高まっていることから、学校施設のトイレの洋式化率も高める必要があります。
- 児童生徒が最も多くの時間を過ごす普通教室へのエアコンの設置を優先したため、特別教室は一部の教室を除きエアコンが設置されていません。特別教室へのエアコンの設置を進める必要があります。
- 水俣条約により令和2（2020）年12月31日以降、水銀灯の製造・輸入が禁止されるため、小中学校25校のうち18校に残存する水銀灯をLED照明へ改修する必要があります。
- 毎年実施している通学路点検の際には、交通安全と防犯の両面での改善要望が出されるため、関係機関と連携し、計画的な安全対策を進める必要があります。
- ICT機器については、順次整備を進めてきており、国の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」の水準を概ね満たしています。タブレット型パソコンなどの学習者用コンピュータについては、3クラスに1クラス分程度の台数を目標に整備し、効果的に活用していく必要があります。

【関連条例・関連計画】

- ・教育大綱
- ・小牧市教育振興基本計画
- ・小牧市学校教育ICT推進計画

◆基本施策の目的及び状態指標

【基本施策の目的：目指すまちの姿】

こどもたちが、安全で安心して学習できるハード面での教育環境を整えたまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
学校内での事故件数	18件	↓
児童生徒の登下校中の交通事故件数	3件	↓

◆基本施策の体系

基本施策

教育環境

展開方向1

安全で快適な教育環境を整備します

展開方向2

学校教育のICT化を推進します

◆展開方向 1：安全で快適な教育環境を整備します

【目標】

○子どもたちが学習に集中できるよう安全で快適な教育環境を整備します。

【手段】

○トイレの洋式化や老朽化した施設・設備などの改修、更新を計画的に進めます。

○特別教室へのエアコン設置や体育館照明のLED化を計画的に進めます。

○関係者と連携して通学路の安全確保を図ります。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
施設維持管理上の不具合による児童生徒の事故件数	0件	→
トイレの洋式化率	41.2%	↑
特別教室のエアコン設置率	46.5%	↑
通学路の安全対策実施件数	11件	↑

◆展開方向 2：学校教育のICT化を推進します

【目標】

○子どもたちが学習の理解度を高められるようICT化による学習環境を整備します。

【手段】

○タブレット型パソコンなどの導入を計画的に進めます。

○校内有線LAN*の改修を計画的に進めます。

○デジタル教科書*、各種デジタル教材などの教育ソフトウェア・コンテンツの充実を図ります。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
タブレット型パソコンなどの学習者用コンピュータ1台あたりの児童生徒数	6.9人	↓

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための 17 の目標



◆現況と課題

- 少子化によりこどもの数は減少しているものの、子育て施策に対する各家庭のニーズは多様化しています。それぞれの事業に対応した適切な支援ができるような体制を整備する必要があります。
- 市民アンケートによると、「安心して子育てができるまちと思う」と回答した割合は、近年 50% 台で推移しています。地域で安心して子育てができる環境を提供することが必要です。
- 地域で身近に相談できる相手がいないなど、地域とのつながりが希薄化している子育て家庭があります。地域ぐるみでこどもの成長を見守り、健やかな育ちを応援できる体制の整備が必要です。
- 小牧市の児童虐待の件数（要保護児童地域対策協議会で取り上げた実件数）は、平成 29（2017）年度は 285 件、平成 30（2018）年度は 250 件でした。今後も、市役所、春日井児童相談センター※、小牧警察署などの行政機関はもちろんのこと、近隣・知人など地域全体が協力・連携し、児童虐待の実態を逃すことなく見つけ出し、迅速かつ適切な対応が重要です。
- 「少年の生活意識と行動」の実態調査報告書によると、「隣に住んでいる人をほとんど知らない」と答えるこどもがいるなど、地域におけるつながりの希薄さがみられることから、地域で気持ちの良いあいさつをかわすなど、地域ぐるみでこどもの健やかな育ちを応援できる体制を整えていく必要があります。

【関連条例・関連計画】

- ・小牧市地域こども子育て条例
- ・小牧市子ども・子育て支援事業計画

◆基本施策の目的及び状態指標

【基本施策の目的：目指すまちの姿】

子育てをしているだれもが、安心して子育てができる体制を整えるとともに、こどもが健やかに成長できるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
小学生児童がいる母親の就業率	74.4%	↑
児童虐待の認知件数	250 件	—
青少年の非行認知件数	809 件	—

◆基本施策の体系



◆展開方向 1：子育て家庭を支援します

【目標】

- 放課後児童クラブ*の質を向上し、安定したサービスを提供します。
- 児童虐待を減らす取組みを進めます。
- ひとり親家庭のこどもが経済的負担を理由に進路の選択肢が制限されることのない支援体制を推進します。

【手段】

- 放課後児童支援員キャリアアップ研修を通じて、支援員の資質の向上を図ります。
- 児童虐待を未然に防止できるよう相談体制を充実します。
- ひとり親家庭等入学支援金給付制度*を活用して、大学などに進学しやすい環境を整えます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
放課後等児童支援員キャリアアップ研修受講者数	8人	↑
放課後児童クラブの待機児童数	0人	→
児童虐待の解消率	76.0%	↑
ひとり親家庭のうち市の入学支援金により大学などに進学した割合	29.1%	↑

◆展開方向 2：地域の子育て・子育てを支援します

【目標】

- 児童センター、児童館、子育て世代包括支援センター*の利用者数を増やします。
- 異年齢児童の交流や遊び体験を中心に子ども会活動の活性化を促進します。

【手段】

- 利用者のニーズにあった講座の開催や、利用者寄り添う居心地の良い環境を提供します。
- 補助制度を活用して市子ども会連絡協議会を支援します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
児童センター・児童館・子育て世代包括支援センターの利用者数	531,773人	↑
子ども会に加入しているこどもの割合	27.4%	↑

◆展開方向 3：健全な青少年を地域で育てます

【目標】

- あいさつのできるこどもを、地域ぐるみで育てます。
- こどもの社会性を育てます。
- こどもの健全育成に関わる人を増やします。

【手段】

- 青少年健全育成市民会議や校区健全育成会と連携をとり、あいさつ運動を中心とした取組みを推進します。
- 同世代のこどもや地域の大人と交流できるような地域活動の場を提供します。
- 「駒来塾*」学習支援員・サポーターのやりがいなどを効果的にPRします。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

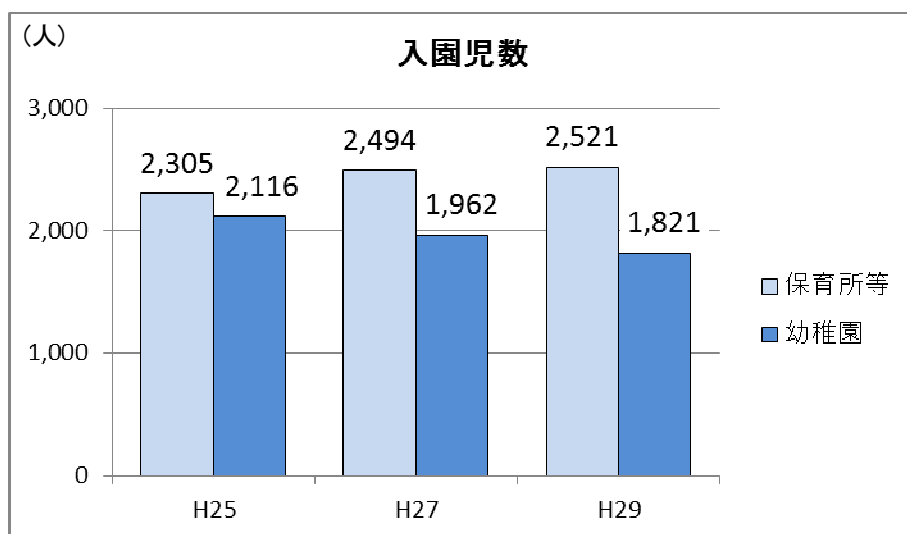
指標名	基準値	目指す方向
地域の大人とあいさつをしている中学生の割合	85.9%	↑
中学生の地域活動への参加率	89% (平成29年度)	↑
駒来塾学習支援員・サポーターの登録者数	51人	↑



◆現況と課題

- 小牧市の待機児童[※]数は平成 31（2019）年 4 月 1 日現在で 0 人になりましたが、令和元（2019）年 10 月から開始される幼児教育・保育の無償化による更なる保育などの需要拡大も想定されることから、引き続き待機児童の解消に向けた取組みを進めていく必要があります。特に、保育施設の所在地に偏りがあり、保育需要とのミスマッチが発生しているため、民間事業者による保育所などの整備については、可能な限り保育需要を考慮し選定する必要があります。
- 小牧市では、ライフスタイルの変化や多様化するニーズに対応するため、公立保育園の民営化や認定こども園[※]化、小規模保育所[※]の整備などを進めてきました。今後も多様なニーズに対応できるような態勢を整備していく必要があります。
- 保育士が慢性的に不足しており、休暇取得も踏まえた勤務ローテーションを組めるレベルまで、保育士を確保する必要があります。
- 民間事業者による保育施設が増加しているため、私立保育園などにも各種研修や講座などの情報を定期的に伝達するとともに、積極的な参加を呼びかけることで、市内全体の保育士の質の向上に取り組む必要があります。
- 保育施設の老朽化が進行しているため、計画的に適切な維持管理を行うことで、安全・安心な保育環境を確保する必要があります。
- 保育園によっては、保育室が飽和状態になっていることから、保育室、遊戯室など、本来の部屋の目的に応じ使い分け、安全・安心な保育環境を整える必要があります。

【参考データ】



【関連条例・関連計画】

- ・小牧市地域こども子育て条例
- ・小牧市子ども・子育て支援事業計画
- ・小牧市立保育園運営計画

◆基本施策の目的及び状態指標

【基本施策の目的：目指すまちの姿】

多様化・低年齢化している保育ニーズに対応し、保護者が安心して子どもを預けることのできるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
合計特殊出生率 [※]	1.44 (平成29年度)	↑
未就学児がいる母親の就業率	28.2%	↑

◆基本施策の体系



◆展開方向 1：保育需要と多様化するニーズに対応します

【目標】

- 待機児童を解消します。
- 多様なニーズに対応できる保育施設を整備します。

【手段】

- 公立保育園の民営化や認定こども園化などにより、延長保育や休日保育をはじめとする多様な保育需要に対応します。
- 発達障がいなど特別な支援が必要な保育ニーズに適切に対応します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
待機児童数	0人	→
延長保育で預かったこどもの数	2,848人	↑
休日保育で預かったこどもの数	181人	↑

◆展開方向 2：良好な幼児教育・保育環境を確保します

【目標】

- 保育の質を向上します。
- 保育園の環境を整備し、長寿命化を図ります。

【手段】

- 各種研修や園自らが実施する自己評価を通じて、保育の質の向上に取り組みます。
- 老朽化が進行する施設を計画的に整備し、安全・安心な保育環境の提供と園児が楽しく過ごせる保育を実施します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
研修参加者数	1,286人	↑
各種保育施設が自ら実施する保育の質の向上のための自己評価の1園あたり年間実施回数	—	↑
計画的な営繕工事（防水改修）の進捗率	15%	↑

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

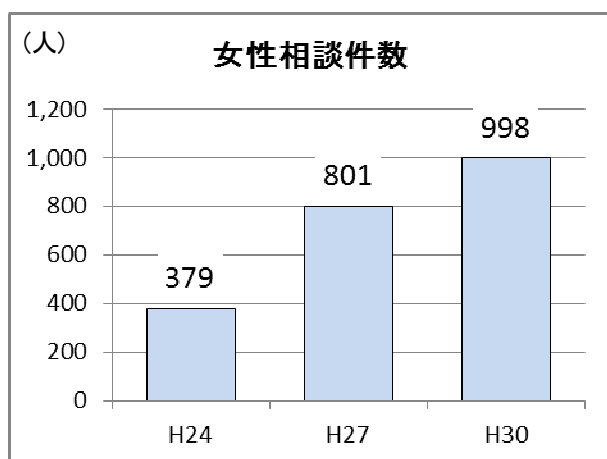
世界を変えるための17の目標



◆現況と課題

- 男女共同参画社会の実現に向け、国においては平成 11（1999）年の男女共同参画基本法の制定以降、これまでに様々な取組を進め、現在は平成 27（2015）年 12 月に策定した「第 4 次男女共同参画基本計画」を推進しています。
- 小牧市では、男女が性別に関わらず対等な立場で、自らの個性を発揮し、多様な生き方や価値観を認めあえる社会を実現するために、平成 15（2003）年 4 月に「小牧市男女共同参画条例」を施行、平成 27（2015）年 3 月には、「小牧市男女共同参画基本計画ハーモニーⅢ」を策定し全庁的に推進しています。
- 職場や政治の場、社会通念・慣習やしきたりなどで 6 割以上の市民が、「男性が優遇されている」と感じています。また、小牧市における審議会等附属機関への女性登用率は 3 割未満であり、自治会や P T A など地域社会における政策・方針決定過程への女性の参画率も伸び悩んでいます。「男性は仕事、女性は家庭」といった固定的な性別による役割分担意識を解消するためにも、地域で相互協力して活躍できる環境づくりが必要です。
- 出産や子育て、介護等の家庭の事情で仕事をやめざるを得ない女性が依然として多いため、ワーク・ライフ・バランスの浸透が必要です。男性中心型の働き方を見直し、多様で柔軟な働き方ができる環境づくりなどを進めるとともに、若者世代に対して、男女共同参画の視点を持ち一人ひとりが主体的に進路を選択できるようキャリアプラン教育を推進する必要があります。

【参考データ】



【関連条例・関連計画】

- ・小牧市男女共同参画基本条例
- ・第 3 次男女共同参画基本計画
- ・小牧市女性活躍推進計画

◆基本施策の目的及び状態指標

【基本施策の目的：目指すまちの姿】

あらゆる分野へ男女がともに対等な立場で協力・参画し、個性と能力を発揮するとともに、多様な生き方や考え方、価値観を認め合うまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
働いている女性（20～50歳代）の割合	67.9% (H27年度)	↑
固定的な性別役割分担に反対する（「どちらかといえ ば反対」を含む）男性の割合	26.8% (H26年度)	↑

◆基本施策の体系



◆展開方向 1：男女共同参画に向けた意識改革を推進します

【目標】

- 地域における男女共同参画への理解を促進します。
- 若者世代に対して男女共同参画の意識を啓発します。

【手段】

- 男女共同参画に関する講座等の開催、地域への男女共同参画普及員の配置と活動支援等により、男女共同参画への理解を促進します。
- 小中学校での男女共同参画に関する冊子の配布や授業等での活用により、児童生徒が男女共同参画について学ぶ機会を提供し啓発を推進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
男女共同参画に関する講座・講演の参加者数	1,616人	↑
男女共同参画に関する講座・講演の実施中学校数	0校	↑

◆展開方向 2：あらゆる分野における女性の活躍を推進します

【目標】

- ワーク・ライフ・バランスの普及と理解を促進します。
- 市が設置する審議会等へ女性委員の登用を推進します。

【手段】

- 企業や地域社会における女性活躍を支援するとともにワーク・ライフ・バランスを推進します。
- 育児・介護休業制度などの情報を提供するとともに、企業向け講座を開催します。
- 審議会等へ女性委員を推薦するため、女性人材バンクへの登録を促進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
ファミリーフレンドリー企業の登録数	10企業	↑
審議会などへの女性委員の登用率	28.0%	↑

◆展開方向 3：女性が安心して暮らせる社会を構築します

【目標】

- 性別により差別されることなく、人権が尊重され、安心して暮らせる社会づくりに取り組みます。

【手段】

- 女性が抱える悩みの解決に向けた相談体制を整備します。
- セクハラ、DV、性犯罪などの被害者に対する支援体制を整備します。
- 多様な性のあり方に関する理解の促進や支援に取り組みます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
女性相談の窓口を知っている女性の割合	41.2%	↑



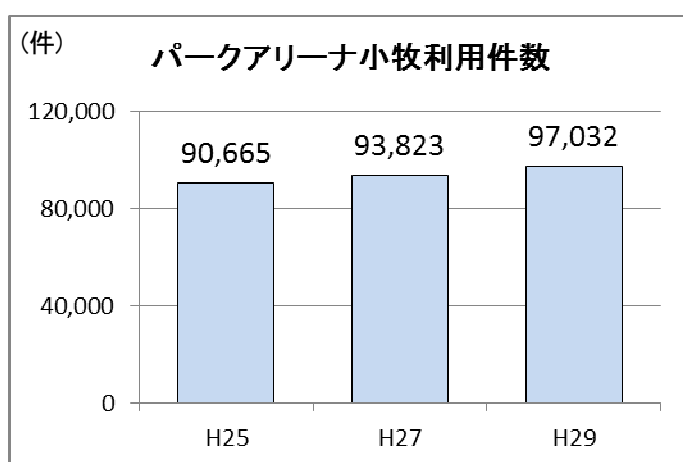
世界を変えるための17の目標



◆現況と課題

- 国の第2期スポーツ基本計画では、スポーツを通じた健康増進、共生社会の実現や経済・地域の活性化など、スポーツを通じた活力ある社会づくりに取り組むことが位置づけられました。
- 愛知県は、スポーツ推進計画において、県民一人ひとりがそれぞれのライフステージに応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、活力ある「スポーツ愛知」の実現を目指すこととしています。
- また、令和8（2026）年には、「2026年アジア競技大会」を愛知県及び名古屋市で開催することとしており、大会の開催に向けて、県内各地が競技会場として検討されています。小牧市ではバレーボールや野球が候補会場として検討されており、小牧市においてもこの機会を活用し、スポーツの振興を図る必要があります。
- 市民意識調査によると、成人の週1回以上スポーツの実施率は全体で46.1%ですが、20・30歳代の女性は20%台の実施率であるなど、年代や性別により差があります。
- 心身ともに健康で文化的な生活を営むため、スポーツの習慣化に向け、保健や介護、子育てなどの関係機関と連携を図りながら、自発的に気軽に取り組めるスポーツ環境の整備が必要です。また、さまざまなジャンルの指導者の育成や人材確保、スキルアップなど指導者の充実が必要です。
- 小牧市のスポーツ推進の中心的存在である（公財）小牧市体育協会は法人化30年が経過していますが、加盟人数は減少傾向にあります。広く市民のスポーツ活動を支えるため、関係者・団体と連携を密にし、スポーツ活動の機会の提供の効率化や充実に取り組む必要があります。
- パークアリーナ小牧や南スポーツセンターなど8箇所のスポーツ施設を運営しており、年間で約99万人（平成30（2018）年度有料施設）が利用していますが、どの施設も土日祝日に利用が集中しています。また、各施設の老朽化が進行していることから、計画的な整備が必要です。

【関連データ】



【関連条例・関連計画】

- ・小牧市スポーツ振興計画

◆基本施策の目的及び状態指標

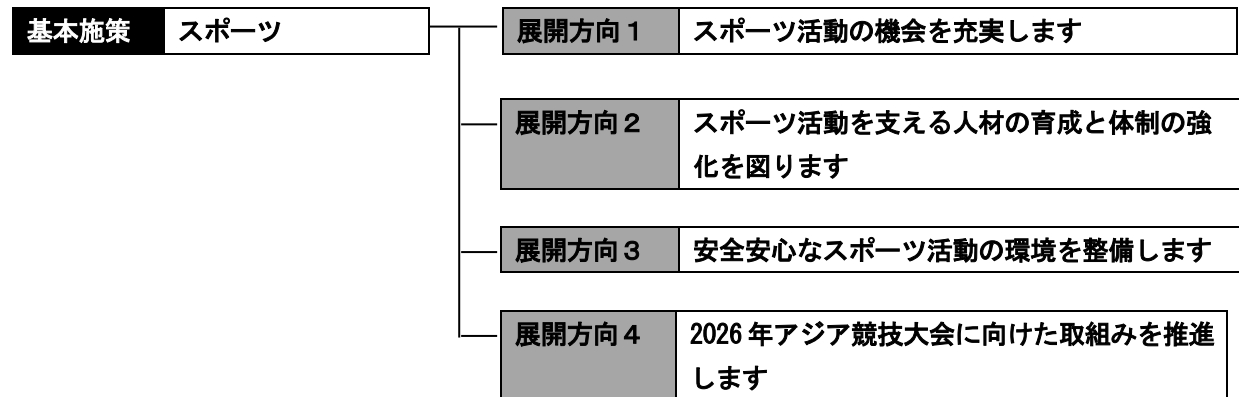
【基本施策の目的：目指すまちの姿】

2026年アジア競技大会を契機として、市民の誰もがスポーツ活動に取り組むことができる環境を整備することにより、心身ともに健康で文化的な生活が送れるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
週1回以上スポーツをしている成人市民の割合	46.1%	↑

◆基本施策の体系



◆展開方向1：スポーツ活動の機会を充実します

【目標】

○健康づくりから競技スポーツまで市民の多様なニーズに対応して、多くの方がスポーツに取り組むことができる機会を充実します。

【手段】

- （公財）小牧市体育協会、スポーツ団体、スポーツ推進委員、市公認スポーツ指導員と連携して、初心者向けスポーツ教室・講座の開催の充実を図ります。
- 市民の健康保持・増進のため、ライフスタイルや目的に合わせたスポーツプログラムの効果的な提供に向け、保健や介護、子育てなどの関係機関との連携を強化します。
- 健康づくりを目的としてスポーツに取り組むことができるよう、関係課・機関との情報共有を図りスポーツ活動へ誘導することで活動機会の充実を図ります。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
健康づくりに関連した運動教室などへの参加者数	1,624人	↑
スポーツ教室などへの参加者数	3,062人	↑

◆展開方向2：スポーツ活動を支える人材の育成と体制の強化を図ります

【目標】

○多様化するニーズに対応するため、スポーツ指導者を育成するとともにその活動を支援します。

【手段】

- スポーツ指導者の育成やスポーツ推進委員、市公認スポーツ指導員のスキルアップと活動の充実を図ります。
- スポーツ指導を受けたい人や団体が指導を受けられるよう指導者とのマッチングが行える体制を充実します。
- 市、スポーツ推進委員、（公財）小牧市体育協会や加盟競技団体、地域スポーツ団体が相互に連携し、効果的・効率的にスポーツの推進に向けての情報共有ができるようネットワークづくりに努めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
スポーツ指導者登録者数	210人	↑
指導者を対象とした研修会などへの参加者数	357人	↑

◆展開方向3：安全安心なスポーツ活動の環境を整備します

【目標】

- 市民の多様なスポーツのニーズに対応した安全安心なスポーツ施設を整備します。
- 安定的で効率的なスポーツ施設の運営を維持します。

【手段】

- 既存スポーツ施設の利用実態や老朽化の状況を踏まえた計画的な整備を推進します。
- スポーツ施設の利用ニーズに合わせて、施設の市民優先予約の拡大などに取り組むことにより、さらにスポーツに取り組みやすい環境整備に努めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
市が管理するスポーツ施設における維持管理上の不具合による事故件数	0件	→
（スポーツ推進課所管）市が管理するスポーツ施設の年間利用者数	985,700人	↑
パークアリーナ小牧メインアリーナの利用率	78%	↑
パークアリーナ小牧サブアリーナの利用率	86%	↑
南スポーツセンターグラウンドの利用率	36%	↑

◆展開方向 4 : 2026 年アジア競技大会に向けた取組みを推進します

【目標】

○2026 年アジア競技大会をスポーツ振興につなげます。

【手段】

○2026 年アジア競技大会の開催に向け、市民のスポーツへの関心を高めることにより、スポーツ活動の促進に努めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

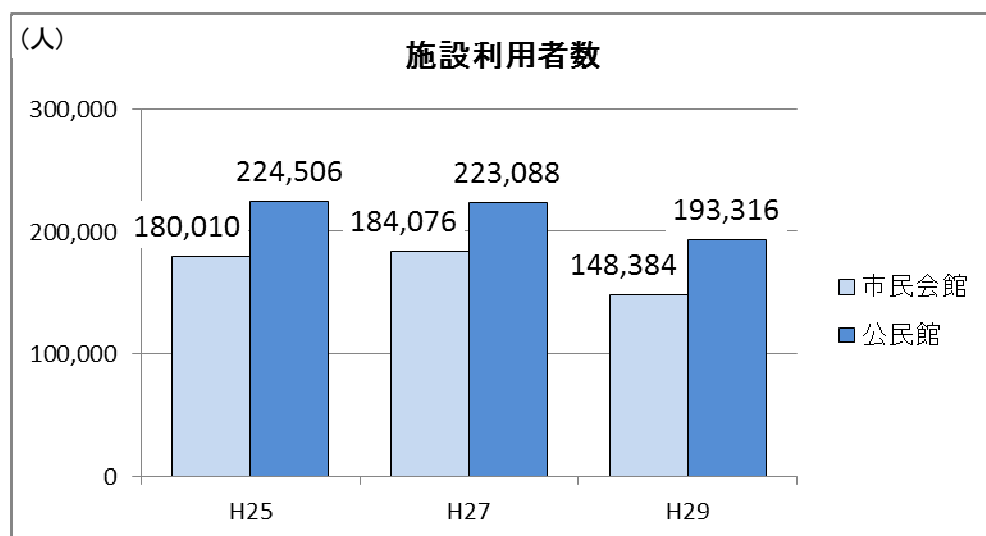
指標名	基準値	目指す方向
2026 年に愛知県でアジア競技大会が開催されることを知っている市民の割合	21.1%	↑



◆現況と課題

- 豊かな歴史や文化を守り発展させ次の世代へ引継ぐことは、ふるさとに愛着を持ち、生きがいをもって心豊かな生活を送るために欠かすことができません。小牧市の文化は、国指定史跡「大山廃寺跡^{*}」や小牧市のシンボリック的存在である国指定史跡「小牧山^{*}」など、豊かな歴史を背景に市民の多様な活動を通して育まれてきました。
- 平成 31（2019）年 4 月には織田信長が築いた小牧山城の石垣や城下町、小牧・長久手の戦いなど、小牧山を取り巻く歴史を紹介する「れきしるこまき^{*}（小牧山城史跡情報館）」が開館しました。小牧市歴史館とともに市民や市外からの来訪者に対する史跡小牧山を中心とした小牧市の歴史の情報発信を充実していく必要があります。
- 小牧の歴史・文化に興味・関心を持っている市民の割合は、平成 25（2013）年度の 63.1%から平成 29（2017）年度には 53.8%まで減少しています。市民の郷土の歴史や文化への興味・関心を高めるため、小牧山をはじめ市内の文化財の魅力を伝えるとともに、保護・保存への理解を深めていく必要があります。
- 平成 29（2017）年 4 月、専門的な知識や経験と、より柔軟で効率的な運営が可能な体制のもと、市民の自主的な文化活動を支援し、市民と共に新しい小牧の文化を創っていくことを目的として市全額出捐により「（一財）こまき市民文化財団^{*}」を設立しました。
- 今後も同財団と密接に連携しながら、文化活動に磨きをかける環境をつくるとともに、人と人・人と地域がつながる活動を支援することで、多くの市民が小牧市の文化に対して愛着や誇りを持ち、文化に親しみさらに活動の輪を広げていくことが必要です。
- 小牧市の文化の殿堂として多くの市民に親しまれている市民会館をはじめとした市内の文化施設には老朽化が進んでいるものもあることから、計画的に改修、整備し、施設の長寿命化を図っていく必要があります。

【参考データ】



【関連条例・関連計画】

- ・小牧市文化財保護条例
- ・第2次小牧市文化振興ビジョン
- ・史跡小牧山保存活用計画

◆基本施策の目的及び状態指標

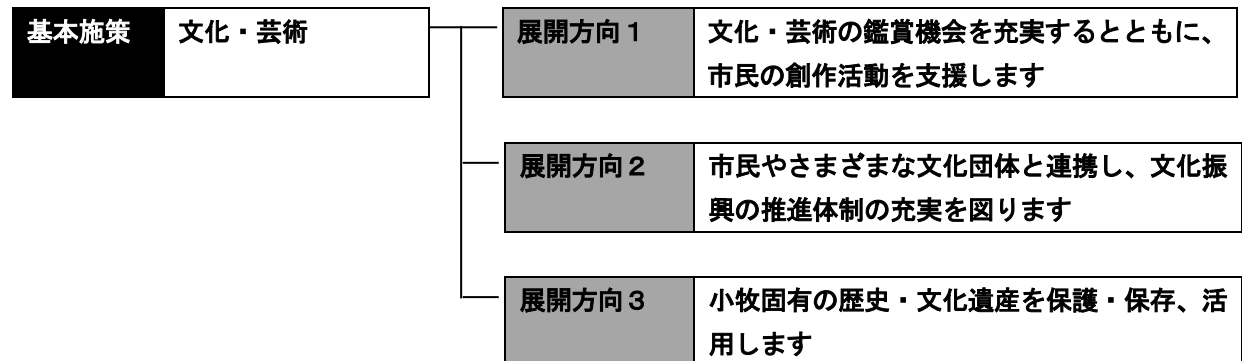
【基本施策の目的：目指すまちの姿】

市民がともにつくる文化・芸術を育み、郷土の歴史・文化に親しむことで郷土への愛着を深め、誇りに満ちたまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
日頃から文化・芸術に親しんでいる市民の割合	50.7%	↑
日頃から文化・芸術に関する創作活動を行っている市民の割合	15.2%	↑
小牧の歴史や伝統文化に興味・関心を持っている市民の割合	58.1%	↑

◆基本施策の体系



◆展開方向1：文化・芸術の鑑賞機会を充実するとともに、市民の創作活動を支援します

【目標】

○全ての市民に文化・芸術を鑑賞できる機会を提供するとともに創作活動を支援します。

【手段】

- （一財）こまき市民文化財団などと連携し、魅力ある文化事業を効果的・効率的に実施します。
- 子どもを対象とした文化・芸術鑑賞事業を実施します。
- 文化活動に参加したくてもさまざまな事情により参加できない方を対象にした福祉コンサートなどを実施します。
- 学校・地域における体験活動や子ども夢・チャレンジ文化事業など子どもの創作活動を推進します。
- 市民美術展、舞台芸術祭、吹奏楽フェスティバルなど活動成果の発表機会の充実を図ります。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
市民会館での公演などへの参加者数	71,391人	↑
（一財）こまき市民文化財団などが主催するイベントへの来場者数	38,903人	↑

◆展開方向2：市民やさまざまな文化団体と連携し、文化振興の推進体制の充実を図ります

【目標】

- 子どもたちに伝統文化や生活文化などにふれるきっかけを提供します。
- 市内の文化団体などの支援を行い、活動を活発にします。
- 文化施設の計画的な整備を行います。

【手段】

- （一財）こまき市民文化財団や小牧市文化協会*と連携し、子どもたちに書道や美術、俳句などの体験指導を行います。
- 市及び教育委員会の後援などにより、文化団体などの活動を支援します。また、文化活動における相談体制の充実により、文化団体などの活動の活性化を図ります。
- 鑑賞・創作・継承の拠点となる市内の文化施設の老朽化などに対応し、計画的な改修・整備を行います。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
子どもまたは親子で参加する文化体験教室などへの参加者数	1,649人	↑
小牧市文化協会加盟団体の団体数	92団体	↑
支援を行った文化芸術団体への事業参加者数	30,046人	↑

◆展開方向3：小牧固有の歴史・文化遺産を保護・保存、活用します

【目標】

- 史跡小牧山の保護・保存、活用を図ります。
- 市内の歴史や文化財についての周知を市民に図ります。

【手段】

- 史跡小牧山の発掘調査を行い、歴史的な価値を明らかにするとともに、調査成果を元に史跡整備を行います。
- 歴史や文化財に関する展示会や講座を開催します。展示会や講座は若者世代の興味・関心を引くような内容の開催を検討します。
- 「れきしるこまき（小牧山城史跡情報館）」を活用した小牧山を中心とする歴史・文化遺産を情報発信します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
小牧市歴史館及び小牧山城史跡情報館の入館者数	—	↑
指定文化財の数	44件	↑



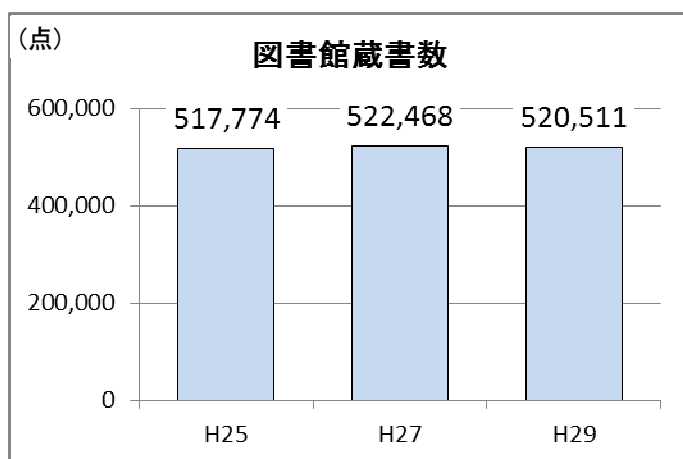
世界を変えるための17の目標



◆現況と課題

- 中央教育審議会（平成30（2018）年12月21日答申）では、地域における社会教育の意義と果たすべき役割として、多様化し複雑化する課題と社会の変化への対応の要請に対応して「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくり」が示されました。
- 内閣府「生涯学習に関する世論調査」（平成30（2018）年8月）では、この1年間くらいの間学習した人の学習した場所や形態（複数回答）は、インターネット22.6%、職場の教育・研修21.5%、自宅での学習活動17.8%、テレビやラジオ14.5%、図書館・博物館・美術館13.8%、公民館や生涯学習センターなど公的な機関の講座や教室10.4%の順でした。
- 人生100年時代を見据え、市民が生涯を通じて健康で生きがいを持って暮らすため生涯学習への関心を高めていく必要があります。また市民の置かれた状況やさまざまな場面に応じた生涯学習サービスを充実させる必要があります。
- 市民の多様な生涯学習活動をとおして、地域社会とつながる仕組みづくりをさらに進め、元気なシニア世代が地域で活躍するなど、地域コミュニティの活性化に貢献していくことが重要です。
- 市内の生涯学習施設には老朽化が進んでいるものもあることから、計画的に改修、整備し、施設の長寿命化を図っていく必要があります。
- 小牧市の図書館の利用者数及び貸出冊数はともに平成21（2009）年度をピークに減少傾向です。市民の生涯学習に役立つ資料を揃え、さまざまな読書相談に応じるとともに、近年では滞在型の機能も重視されており、市民の情報と交流の拠点として活発に利用される図書館が求められています。図書館本館は建設から約40年が経過し老朽化・狭隘化していることから、Wi-Fi環境の整備やタブレットの貸出などさまざまなニーズに対応した新たな図書館の整備を進める必要があります。

【参考データ】



【関連条例・関連計画】

- ・第3次小牧市生涯学習推進計画

◆基本施策の目的及び状態指標

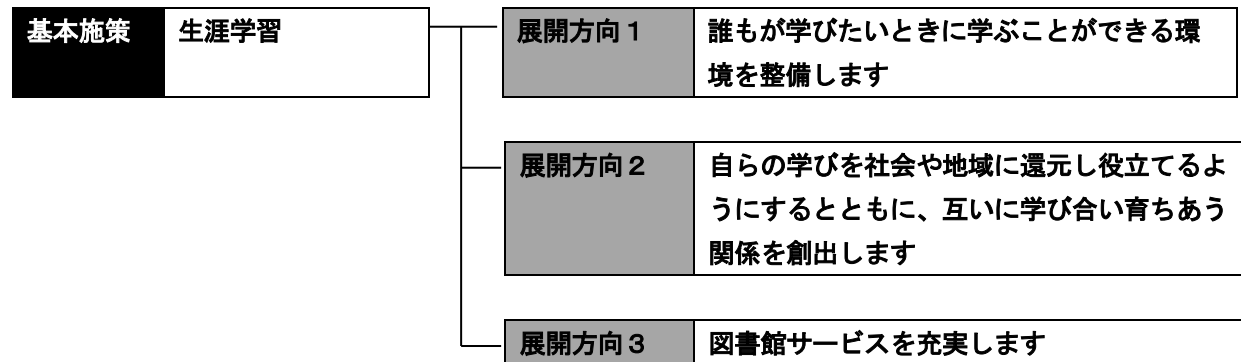
【基本施策の目的：目指すまちの姿】

豊かな人生を支える、生涯を通じて学ぶことができるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	28.4%	↑

◆基本施策の体系



◆展開方向1：誰もが学びたいときに学ぶことができる環境を整備します

【目標】

- 生涯学習に取り組んでいる市民を増やします。
- 公民館などの生涯学習施設の環境を整備します。

【手段】

- 市民講座、高齢者学級、退職後の学び直しなどを通じ、生涯学習活動のきっかけづくりをします。
- 施設の老朽化などに対応し、施設設備の修繕を計画的に行います。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
市民講座受講者数	1,815人	↑
公民館利用率	46.6%	↑

◆展開方向2：自らの学びを社会や地域に還元し役立てるようになるとともに、互いに学び合い育ちあう関係を創出します

【目標】

- 生涯学習を推進する人材の育成を図ります。
- 学習活動に必要な情報発信や相談体制を充実します。

【手段】

- 生涯学習に関するボランティア、コーディネーター、サポーターなど、地域で活躍できる人材を育成するための講座を開催します。
- 市内にある5つの公民館が連携し、市民の学びを支え、生涯にわたる学習を保障する拠点としての機能を強化し、幅広い分野での情報発信や相談体制の充実を図ります。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
生涯学習の支援や指導に関わった市民の割合	7.7%	↑
生涯学習に関する相談件数	300件	↑

◆展開方向3：図書館サービスを充実します

【目標】

- 今まで利用してこなかった市民や若い世代の利用を増やします。
- 課題を抱えている市民の問題解決のため、資料を充実し、相談件数（読書案内）を増やします。
- イベントなどへの参加者数を増やします。また、市民参画の機会と場を提供します。
- 新小牧市立図書館の整備を推進します。

【手段】

- 保育園や小学校への配本サービスを拡大します。
- 新図書館では滞在型の図書館を目指し、Wi-Fi環境の整備を行うとともにタブレットの貸出、ICT機器の導入、デジタル情報（電子書籍、データベース）の提供を進めます。
- 小牧の歴史・文化・産業の発信地となるように郷土資料や地域資料の収集提供の充実を図ります。
- 市民の生涯学習や研究、地域の課題に対して資料や情報を提供するレファレンスサービス*の充実を図ります。
- 市民団体との連携、協働による企画や事業を実施します。
- ボランティアや市民サポーターなどの図書館運営に協力する市民を増やし、さまざまなイベントを工夫して企画、実施します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
貸出利用者数	196,051人	↑
市民に占める貸出利用者の割合	128%	↑
貸出密度（貸出延べ冊数/人口）	6.4冊	↑
レファレンス処理件数	6,130件	↑
図書館が開催する講座、行事などへの参加者数	7,159人	↑